

国際医療福祉大学

2023 年度 科目『郷土論～栃木学～』

講義参加学生・市民のリフレクションシート(コピー)

※乱筆乱文および誤字脱字等ご容赦くださいますようお願いいたします。

科目名
郷土論

学 科 NS 学科 2 年  
 学籍番号 学生  
 氏名

いまの大田原は、田畠が多く存在し、多くの店が存在し発展している裏には、明治時代から先人達が流した汗があるということを知り、先人達への感謝をしなければいけないなと思いました。それから今は豊かな生活に繋がっているということ忘れず生活していくなければいけないなと思います。講義に出てきた人に全部お任せするだけでは解決することができると問題は限られると思うので、普段から工夫な生活を心がけながら生活していきたいなと改めて感じました。

#### 国際医療福祉大学

科目名
郷土論

学 科 NS 学科 1 年  
 学籍番号 学生  
 氏名

西には豊富な水資源があるひモーラー小屋がたくさんある。田舎はかわいい、のどがでいいなと思った。たま地域は「74-1」エネルギーの主席を務めている。74-1エネルギーはこれまで絶対的に化石化になるのではないか地域にそこまで74-1エネルギーを底本は「日本全国にいい影響があるのではないか」と思えた。

科 目 名
郷土論

学 科 作業療法学科 1年  
 学籍番号 学生  
 氏名

今の水の豊かな那須野ヶ原を作った先人達がどれ程の努力をしたかよく分か  
 り。今この水のある豊かな生活ができるのは、子孫達に貴重な財産を残してくれた  
 人に感謝したい。そしてこれからも受け継いでいきたい。那須野ヶ原が再エネの  
 宝庫であると始めて知った。

国際医療福祉大学

科 目 名
郷土論～根本論～

学 科 作業療法学科 1年  
 学籍番号 学生  
 氏名

地域資源を活用して、町を育むことができる。那須の地域は、水や森林(森)  
 たのに、林下地や水道などを整備したので、現在、豊かにくらすことやで  
 きる。名前ではあるが、那須地域は自然エネルギーの宝庫であることがわ  
 かった。そして、脱炭素先駆地域を中心として色々な開発が開始されていて、  
 2030年までに50%減らさなければいけないとしてもおかしくない。  
 に、炭素を0にすることのために、サカコトや林業も作りほんとはいいこと  
 に驚いた。木があることにソリューションがあり、災害を防ぐことが出来  
 ため、山や森を持つといふ必要があることがわかった。

国際医療福祉大学

科 目 名
郷土論

学 科 作業療法学科 / 年  
 学籍番号 学生  
 氏名

初めてこの土地にきたとき、蛇尾川や熊川に水がなく、驚いたことを思い出しました。私たちが今、水や木に困らず、生活できているのは、先人の方々の苦労、困難がござつたからでありますと感じました。また、このさうに豊かに暮らせるようになつたのは、たゞ平成7年からと勘定で言つておき、「水资源の確保、水と木だけではなく、大造林事業だ」と、それを実感しました。子孫のためにと働きかけてくれた先人の偉業を私たちの代だけではなく、次の世代にも伝えていきたいと考えます。また、那須野原の工場を持続可能な地域へとすること、先人の残してくれた資源(水力発電)を用いて、次の世代へと伝えたいことを書きました。

国際医療福祉大学

科 目 名
郷土論～栃木学～

学 科 OT 学科 / 年  
 学籍番号 学生  
 氏名

現代の那須野原は、豊かな水と木時代が終り、乾燥化した現在。資源や水の世代へ移し、モノ種の豊かさが伝統を守るためにも、地域資源の活用や都市化時代の绿化化などを実現するためには、那須野原の緑を守ることも大切であると思ふ。

那須野原石毛山は、標高400mほどのため、13.3ha情報手段を使つて、有効に防災・減災の動作。低下を防ぐために、都市化時代集計的防護法を用いる。

植樹工程、暗渠開拓、森林化地の防護地図、急勾配地は、木の剪定工程、木の積み方、土砂堆積量増加方、側面の竹林や植木等の木材の搬入搬出工程、雨露気を遮る竹林の様子。

国際医療福祉大学

科目名
郷土論

学 科 011 学科 2年  
学籍番号 学生  
氏名

今回の講義を視聴して、現存の那須野ヶ原が豊かな水田に囲まれているのは、様々な努力がいたことを知りました。水が浸透しづらい土壤にダムを建設するには、莫大しいのにたくさんの年月をかけて完成させた経緯をもとで詳しく知りたいと思いました。

那須地域では他にはない水車の設置ポイントがたくさんあり、川の底を一定間隔で下げることで発電が可能であることに驚きました。

国際医療福祉大学

科目名
郷土論

学 科 011 学科 1年  
学籍番号 学生  
氏名

初めて見た水車と那須野ヶ原の動画の内容は、今まで受講して郷土論のまとめに在っており、那須野ヶ原の歴史や環境について再確認することができました。また、新しい事実も知ることができました。

それはダムの設置や地下水についてです。ダムが設立されたのはまだ20年ほど前であることに驚きました。私の生活は、そのダムの流れで成り立っていますけれど、ほんの少し前までは今は違っていて、先人の働きや努力に感謝していました。

農作物の地産地消はよく言ふますが、電力の地産地消はまだ新しい言葉の方に感じます。この那須野ヶ原の土地だからこそ、できるこあり、持続可能な社会、持続可能な資源を実現するには今私が何にしなくてはならないことかと考へることができました。

国際医療福祉大学

放射線

学 科 情報科学科 1年

学籍番号

学生

氏名

那須野ヶ原の人達は地元愛が大きいと感じました。

あちこちで土地を改良し続ける大工達はとても素直いいと  
思いました。エネルギーの地産地消ができることに驚き

ました。CO<sub>2</sub>の削減は、そのための設備をつくる  
だけで大変なものだと感じました。牛の排泄物を使  
ったバイオマス発電がこのあたりには今までないそ  
うと思いました。那須はらではの良さを残しつつ  
さらに発展した町にはなると良いなと思いました。

森林づくりなどの活動に興味を持ちました。

駒でもと遊びついでの駒前開発が樂しいです。

国際医療福祉大学

科目名

郷土論

学 科 放射線情報科学科 1年

学籍番号

学生

氏名

那須野ヶ原の土地の形や雨の流れの仕組みを理解し傾向と  
対策を行った努力がすみませんと思いました失敗にも折れず立ち  
上がらることが大切だと思いました。水資源を獲得し豊かな那須野ヶ  
原にしようとしたから結果として現在では日本を代表するような農業が  
栄えた場所になりましたがとても喜しく思いました。1000年の森と育  
てくみんなの会で将来の那須野ヶ原の人々のこと考えて豊かな  
土地を継続される取り組みをしてるからこれからもと宋える町  
になれてほしいなと思いました。再生可能エネルギーで環境  
を守り CO<sub>2</sub>排出0を実現できればいいなと思いました。

国際医療福祉大学

科目名
郷土論

学科 KJ 学科 1年  
学籍番号 学生  
氏名

今日の講義を聞いて、この土地の特徴や環境というのは昔からたくさん人々が苦労や工夫をしてきてきましたと感じました。

この土地や環境に、自然の力を利用して電気や水を使用していくことがこれからたくさん増えていくと環境にも人にもプラスになると感じました。

現在は地球温暖化や気温上昇など異様な環境が多いので鈴木さんが講義してくれた活動やプロジェクトもと進めていき、これからよりよい地域でつくっていくかと思います。

国際医療福祉大学

科目名
郷土論

医療福祉  
学科 マネジメント 学科 2年  
学籍番号 学生  
氏名

那須野ヶ原の水資源について知ることができました。昔は手にすぐう水も無いと言われた地域で多くの人の力で豊かな水資源を確保することができてまたそれが驚きました。また、電力についてはも、水資源を使った発電が進んでいることで環境についても考えられていましたと知りました。発電をするだけではなく、地域の環境を壊さずには進めていくことが重要なと感じました。また、牛も発電めぐらしが牛に生かす水でないと驚きました。川のオマス資源を使った発電についてはよくしく知るようになりましたと良いかったです。また、那須ならではの取り組みを目指していると知って、興味深かったです。自然の資源を大切にしていると感じます。

国際医療福祉大学

科目名
郷土論

医療福祉  
学科 マネジメント 学科 2年  
学籍番号 学生  
氏名 :

那須地域の水(ヒツジの問題)は、知り、これまでの、動画で視聴。  
1. 土地改良の歴史が深く、長い年月をかけて水害による被害を  
受けた人々の方々が後世のために努力して来たものである。  
2. 今や河川の流れが整備され、地域で接続でつながる。  
3. 先人の苦心で、現在地域資源を活用する方法を考察。  
地域内を繋ぐ事で、豊かな資源を活用し、技術的進歩を行  
ないうと、時代と共に、リスクから身を守るために、古い時代の思想が生き残る。  
自然の中で使い様を持つ物、事は、関連づけながら、地域  
の活性化が高まり、那須の良さを発信する機会となり、次世代に  
つなげて生き残り、接続可能な地域へつなげ、つなげ、つなげ、つなげ。

国際医療福祉大学

科目名
郷土論

学科 SHM 学科 3年  
学籍番号 学生  
氏名 :

環境を守るために多くのソースや様々なビジネスが戻り合って  
いるのだと感じた。

科目名
郷土論～所不学～

学科 SHM 学科 3年  
学籍番号 学生  
氏名

この地域にしかないので使う、という考え方には、社会開発段階の方  
が要だと思つた。

地域の資源や、資金の動き、エネルギーについても学んだ。

普段は意識していない部分を知ることで、これが原因だ。

### 国際医療福祉大学

科目名
郷土論

学科 スシメト 学科 2年  
学籍番号 学生  
氏名

今回の講義を聞いて、以前聞いた那須地域の歴史と  
合わせて昨今の課題をくわしく知ることができました。

特に牛の扇などから発電などのエネルギー源として用いら  
れることかとても驚きました。CO<sub>2</sub>実質排出ゼロ宣言が  
達成できるように頑張ってほしいと思いました。自分も出来る  
ことがあれば頑張りたいです。

発電についてですが、自分は雷を上手く利用できればと考えています。  
栃木県は春から夏にかけて雷が多いので強力な電気を得る  
ことで化石燃料の使用を減らせると思いました。

### 国際医療福祉大学

科目名
紹介文論

学科 SHM 学科 3 年  
学籍番号 学生  
氏名

河口の防災工事をして、河川の水を活用する方法について、  
現在のところは、河川の水を活用する方法として、水の循環、  
水の利用、水の活用といったものが、今が最も注目される  
事例で、その中でも、水資源の開拓と水の循環利用の  
を積極的に取り上げて、

### 国際医療福祉大学

科目名
郷土論～楠木学～

学科 薬学科 1 年  
学籍番号 学生  
氏名

ビデオを見て、もともと那須野ヶ原は、多くの石が積み重  
なり、その上に火山灰があつたことによつて川の水が流れずにな  
農作物が育たないという問題があつたことが分かりました。  
また、この問題を解決するために先人たちがたくさんの時間と  
努力を重ねて川の水を流したりトンネルを作りて水を流すなど  
を行つていたことが分かりました。さらに、「1000年の森を育てる过大なのが食」  
では、間伐材を利用して那須塩原のヒノキを使つた「1000森鉛筆」  
などの那須よしさを表現できる製品の開発を行つてゐること  
が分かりました。

### 国際医療福祉大学

科目名  
物理土力学

学 科	中	学科	年
学籍番号	学生		
氏名			

今回序盤の内容は以前も触れたことがあったので再び玉里解しました。原発以前は環境先進国たては矢印ませてした。化石燃料に着目するクリーンエネルギーが実現すれば、再び環境先進国に戻れる。ハイボスマ発電の良いところを見え資源や地域資源に取り入れて、那須のブランド化を進めるのはとても面白いので、其期待が膨らみました。

## 國際醫療福祉大學

科 目 名

学 科	算	学科 / 年
学籍番号	学生	
氏名		

那覇(=日本古の歴史の始まり)、今本州で牛乳の生産量(全国)  
2位、田舎は山林で人手不足で生け垣の木垣の代り  
山野草の木垣と呼んで。那須高原市は野菜2位の  
1位(=水野市)で生け垣は毎年10月頃(=秋)にCO<sub>2</sub>を実験の方  
で約1%太陽の光強度を約10%10年20年後(=秋)は  
太陽の光10%で生け垣のCO<sub>2</sub>が10倍も大きくなる  
(=秋)、つまり(=秋)のCO<sub>2</sub>の能率が何倍で地域を野菜の生産地  
として育てた、難しい課題であると感じました。

國際医療福祉大学

科目名
郷土論

学科 葉 学科 1年  
 学籍番号 学生  
 氏名 .....

今回の講義では那須塩原での農林水産業についてや地域で行われる持続可能な社会への取り組みについて学びました。荒地下から那須塩原が小田代ではどうして1971年政府の取り組みや農民的努力によりヒューマンアート作業下請会社が分離されました。また那須塩原の木立地で、そこから鉛筆工場株の生徒へと配布され、生徒自身が持続可能な社会への活動を肌で感じられており、資源を大切にしていくための重要性に気づかせてくらうまい活動を行いました。

国際医療福祉大学

科目名
郷土論

学科 葉 学科 1年  
 学籍番号 学生  
 氏名 .....

今回の講義を通して、那須の水についての歴史、那須の自然を活用した商業や持続可能な社会についてよく知ることができました。特に、再生可能エネルギーを活用する方法についてのアイデアには、とても興味が湧きました。実現までの道は決して近いわけではありませんが、お体に負を付けて、お仕事を頑張って下さい。

国際医療福祉大学

科 目 名
郷土論

学 科 英 学科 1 年  
 学籍番号 \_\_\_\_\_  
 氏 名 学生

- 1 今自分が戸田市で問題意識として生じたのは(日是川下流)發電の問題です  
 と判明しました。今日の話で間違つて那須山は同じ理由で大河川の問題を外すと言ふ  
 ことを知りました。今日話で新潟市では、車を伝えて川に落ちた  
 児童が死んだ事故が発生した。下流で、車の音に対する言葉がその原因  
 ではないかと思われました。
- 2 那須山は那須山の話で車も新幹線も運んでないので發展して、JRの問題  
 が想定され、那須山は観光地でありあります。JRの發展は必要不可欠だと思われ  
 ます。駅前通りの計画もあまりまだ発展していないと思います。

#### 国際医療福祉大学

科 目 名
郷土論

学 科 英 学科 1 年  
 学籍番号 \_\_\_\_\_  
 氏 名 学生

- 丁寧に一つ問題が大于ほ影響を及ぼしている今日解決につけて  
 がる良い事だと思います。特に森林砍伐が大きくおかれています中、地域の森を資源として守り、将来に向けて育  
 て、自然を育むことは、環境に良い影響ばかりなので  
 良い事だと思います。森林が育まることによると、自然  
 破壊の防止や間伐で木が倒れて木と有機物が利用  
 可能になります。森林と無関係にしており取り組みが進む  
 ことのない問題で、時代に合わせて移り変わること  
 環境問題を解決し、地域一丸となって取り組み、  
 次の世代につながる大事だと思いました。

#### 国際医療福祉大学

科目名
郷土論

学科 粩 学科 1年  
学籍番号: 学生  
氏名

地球温暖化が進行し、化石燃料の使用が問題視される中、再生可能エネルギーにて注目するのはとてもいい取り組みだなと思いました。これらへの地域はとても自然豊かなと思うので、水力発電、太陽光発電など様々なことを聞いてきましたね。また、牛が多いということで、昔に「牛の肥料」と何かの種類の海藻を足すとメタン排出量が激的に減少といった文章をよく見かけます。豊富な川の水を海水にして海藻を育てて→牛になへせるという流れができますから、へらせるのはないですね。(生態系、技術面も考慮しつけた方がよさそう) 鈴木さんの活動力が少しあつたから地元を守るといいついでね。頑張って下さい。

国際医療福祉大学

科目名
郷土論～林木学～

学科 粩 学科 1年  
学籍番号: 学生  
氏名

今回の講義を通して、水を得ることが難しく、場所に水を運びるために古代の人々が努力したこと、ダムを作れるまでに成長したということを教り、驚きと同時に大きな努力がかかるのに「うう」と感じました。土地が水田に向かって川という現状を受け入れ、その上でどうするかを考える方向で考え方があるとすばらしいと思いました。現在の農業に生活は多くの人の努力と長い歴史があるからだということが分かりました。また、今後の人々の生活のために現在生きている私たちも、よりよい生活を送るために環境を守るために努力すること、古代の人々が残してくれた文化や歴史を次の世代に残すことなど多くのことを取り組んでいたと思います。また、これから那須が生き残るために土産物や特産品にブランドを作り、バイオマス資源を使ったり色々な取組みを行おうこれが大切だと感じました。

国際医療福祉大学

科目名
郷土論

学 科 葉 学科 1 年  
 学籍番号  
 氏名 学生

先人たちがどれほどの苦労をし、この地域を作り上げたのかを知ることで出来ました。今までには水田が多くとても水が豊かであると感じていましたが、過去はその逆であり飲む水すら無くその状態から現在にいたるまで多くの人々が協力し、犠牲を払ってきましたことを知り、この地域を今後も大切にしていきたいと考えました。また他にも森や電力、少子化など解決すべき問題が多くあり、自分に何が出来ることかあれば取り組みたいと考えました。

#### 国際医療福祉大学

科目名
郷土論～栃木学～

学 科 葉 学科 1 年  
 学籍番号  
 氏名 学生

今回の郷土論～栃木学～では主に自然の面から地域を見ていました。那須野ヶ原は水资源が充実している（水門があるといつたので）と思っていたので、過去にこのようなことがあったことにたどり着きました。水の貧しい土地だったのに、多くの人の努力のおかげで、今の那須野ヶ原があるのですね、と分かりました。“水”にも木、森が深く関わっていました。今だけではなく未来も考えた森づくりが“必要な”と思いました。  
 ↗ “持続可能”というのはとても大切だと実感しました。

#### 国際医療福祉大学

科目名
郷土論

学科 葉学科1年  
学籍番号 学生  
氏名

私は、本日の講義を聞いて自然の大切さ、ありがたさを改めて実感することになりました。私は国際医療福祉大学の近くに住んでおり、毎日田んぼの水路を通って登校している。毎日通っている田んぼ。またついに、今日の講義でみしゃといはドラコがあることを知りました。昔の方々の熱い思いや、豊かな土地への想いがこもっています。土地、水を大切にし、水をよし先の方々へより良い形で渡すことが使命だと今から思いました。まだ自分自身でやることは少ないと思う。

### 国際医療福祉大学

科目名
郷土論

学科 葉学科1年  
学籍番号 学生  
氏名

第4回の観光についての講義でも、那須の水についての話題がありました。今回改めて、その歴史を知りました。思っていたより相模の開拓で、田も一併とりていたんだと少し驚きました。渡部美智代さんの子孫のために土地開拓等をするんだという言葉が印象的でした。JR山手線の人の思いが、これにて豊かな土地が生まれたんだだと感じました。また、その土地を守るためにもJR山手線の人々活動していることを知りました。土地を守るためになく、環境等を考慮してから、那須の活性化・まちづくりもしていて、先祖からの想いをしっかりと受け継いでいるんだなと思いました。地域の未来のために行動することは、本当に大切なことだなと思いました。私に何ができるか、地元のことを行一度考えてみるために少しでも行動を起こしたいなと思いました。

### 国際医療福祉大学

科 目 名
郷土論

学 科 葉 学科 / 年  
学籍番号  
学生  
氏名:

今回の講義では那須野川原の地での開拓の歴史について語りました。昔は水が余るか少しから今まで木暮川最も多くの農業地帯へなっていました。水资源を生かした農業事業が行われていましたとしても驚かず、その水资源を使つて水の發電が発達し、木暮川の發電で得た資金が河川の設備、農業の費用にあてられていたことを知り、とても合理的だなと感じました。自分もこれから開拓をして木暮川へ感謝し節電・節水に努めることでこれからも水资源を含む生きる資源を大切に使っていかれたい。

国際医療福祉大学

科 目 名
郷 土 論

学 科 葉 学科 / 年  
学籍番号  
学生  
氏名:

自分が日々生きている生活は、昔の人々異常に困難を乗り越えて結果として成功しました。今生きていて苦しきや絶望を感じずすく、きっと何の運びでいるか信じて前に進んでいます。自分の苦しみかべどういう風な形にならぬから自分の「」と改めました。現状を変えるために、日々考え、勇気をもって挑んでいく必要があると感じました。この郷土論を聞いてみると、自分の前のこととしてや、今ここには違ひけれど、人生の目標としては同じかな?人達が多いたとも思いました。ただ、挑み続けるのはしんどいです。

国際医療福祉大学

科目名
郷土論

学 科 葉 学科 1年  
学籍番号 学生  
氏名

私は今日の講義で那須高原、地形や川についての知識を得るところまできました。今、那須高原は東北において観光地となっていますが、今は丘陵、山背風にはたくさんの努力があたることを知りました。また、那須高原は石や木山区とが多く水か土にしみこんでいます。川が自分が下ることに驚きました。さて、川に落葉高と、けよことで川の勢いを弱めていることやその原因として春雪によるものと感じました。

国際医療福祉大学

科目名
郷土論～熊本史～

学 科 葉 学科 1年  
学籍番号 学生  
氏名

熊本城は、熊本のシンボル的存在で、今もなお復元中だということに驚きました。そして、那須地域は特殊な地形のため地下水を引き上げるモーター小屋が必要で、それを鎌木さんの会社で設置してもらうことでした。昔、那須地域に十分な水を引くために、多くの偉大な先人達が長年に渡り絶え間ない努力をして下さったことを学ぶことができました。このような先人達の努力を無駄にしないためにも、私たちは、1000年先を見据えた行動を取らなければいけないということでした。また、渡辺美智雄さんは、那須のインフラ向上だけでなく、私たちが学習している国際医療福祉大学の場所を決めて下さったとのことです。那須にはたくさんのオランジーレがあり、私たち若い世代が、先人達を見習い、持続可能な那須地域を目指して努力していく必要があります。

国際医療福祉大学

科 目 名
郷土論

学 科 薬 学科 / 年  
 学籍番号  
 学生  
 氏名

- 那須は、土地が悪く、雨が降っても、水は、地下にいってしまい、水がない土地と言われていた。だが、印南 ひのみや 矢板武らの活躍により、那須駿水がです、水が流れるようにになった。
- 草刈り草の小ささと人が始め、地域に恩を返したいという気持ちを高めていけると良い。
- 地域資源を活用して乗り越えていく、  
○ 那須には水車の設置ポイントがある。  
ある地域では、落差こうを活用して4つもの水車がある。

国際医療福祉大学

科 目 名	学 科	学 科 年
市民開放授業 「持続可能な那須野原を目指す - 境域の開拓の方へ	学籍番号	市民
	氏 名	
講師：鈴木大介氏（鎌木電機株式会社代表取締役社長）		

1. 那須野原の変遷（江戸時代等）を使って色々な議論を許可されては貴社（御社）の活動路線を期待いたします。
2. 少子高齢・人口減少等どう対処するか？ 国際化・グローバル化に期待される。まず伊豆の渡辺義教市長の活動路線を期待したい。
3. 田舎地域のアドバイス（行政の集会）を押さえて下さい。

国際医療福祉大学

科 目 名	学 科	学 科 年
郷土論 鈴木大介 様 (1000年の歴史を持つ外人学校)	学籍番号	市民
	氏 名	

電力会社がなぜ今つぶされているのか、地域資源を活用  
既設電力会社が勝てない理由は、操縦口が山手システム側に  
ありますので、投資意欲などから導入された結果です。  
大宮市町の山手は、現在は電力会社の運営下で、  
水を販売する一筋で、子供のため、児童の安全確保として  
多くの緑地がある様に山手市川町、水の販売の活性化を目的  
又支給の山道を復旧のサイン運動で緑地を保つことを  
目指して下さい。

国際医療福祉大学

科 目 名
郷土論

学 科	学科 年
学籍番号	市民
氏 名	

、太陽光発電で各家庭に蓄電器を備え付けて電気は自分で造る事をもっと自己押し進められるとありたいし希望したい。

、非生物の利用で確かにマジー栽培・コーヒー豆の栽培を。温泉水でトラフグの養殖は行なわれています。もと南国系のフルーツがさきると聞いたです。

、個人的に1000森にカンパしたりと思って山まで魚強にならすお詫びありがとうございました。

国際医療福祉大学

科 目 名

学 科 一般市民 / 学科 年	
学籍番号	市民
氏 名	-

毎日、何気なく水をサクサク使っていましたが、いろんな方々の努力があり、現在に至りていろいろに感謝です。

現在、那須野川原の地域資源を生かす活動、開発がなされている事はすばらしいと思いました。

後講じて、那須野川原の自然や生活に役立つてることに貢献されました。

小学校、中学校、高校、学生さんたちに沿つて広く教えて貰いたいと思います。

国際医療福祉大学

